

移動する家族と学校/校区

(話題提供:教育システム専攻 木下寛子)

ある家族が文化、国、校区を移動してきた15年の「歴史」を話してくれました。話からうかがえた経験、そしてこれまでの付き合いをもとに「都市で暮らす」ことを考えます。

日時:2023年3月2日(木) 13:30-15:00
場所:E-B-430 & Zoom
(学習環境シミュレーション室) ※当日参加可

「九州大学大学院人間環境学府 多分野連携プログラム」 について

多分野連携プログラムは、九州大学大学院人間環境学府の専攻を超えたより自由で流動的なつながりと協働を作り出すことによって、未踏な研究領域を探検することを主眼に置いた、新しい学問分野や新たな研究・教育体制作りの種を蒔く試みです。

多分野連携プログラム 「都市の生態学—移動・地域・生活環境」 について

朝、福岡市営地下鉄の姪浜方面行き電車に乗ると、春には外国語のテキストに取り組んでいる学生らしき人を多数見かけ、秋にはパソコンで書類とにらめっこしたり、いそいそと本や論文を読んだり、冬にかけては分厚い原稿の束に赤を入れたりする年配の人たちを見かけます。その風景は2018年までは東区(箱崎九大前駅まで)の電車で見慣れた風景でした。九州大学のキャンパスの移転は、このように毎日の人の移動する方向やその光景が生起する場所を変えました。そればかりか学生、研究者、留学生の暮らす場所・拠点の移動を起こして、福岡市を中心とした都市圏とそこでの人の暮らしの在り方にも多様なインパクトをもたらしています。

この取り組みでは、生活環境(私たちが暮らしている場所)を基本的な単位として、多様な人々の多様な移動を織り込みながら、現在の都市と人間の関係性を「人間=土地(場所)系」という相互浸透論的な視角から理解していくことを目指します。またその展開においては、人社系および理系他学府・他研究院や学外の諸機関・組織との連携・協働も視野に入れていきます。

- 【共催】 人社系協働研究・教育コモンズ／学際融合プログラム「移動」を前提とする都市の生活環境:「人間—環境」系理解のための探索的研究」
【申込み】 <https://forms.gle/TfW1tye3pL9kXbc69> (QRコードからもアクセス可)
【問い合わせ】 coordinator@hes.kyushu-u.ac.jp
(九州大学大学院人間環境学府 学際企画室)

